

学会だより

◇ 常任幹事会

開催日：平成 17 年 6 月 9 日

場所：東京大学農学部

出席者：会長 谷坂隆俊，副会長 長戸康郎，大澤良，平田豊，中園幹生，加藤鎌司，阿部利徳，佐々英徳，勝田真澄，小松田隆夫，吉村淳，北野英己，長谷川博，江面浩，奥本裕

各常任幹事から業務の経過報告を行った後，山形大学大会開催時に臨時総会で審議する学会費値上げ案，出版補助に関わる科研費を申請するための入札制度の導入，名誉会員，学会功労賞に関する内規改正案，アジア国際作物学会における作物学会との共同シンポジウムの詳細，ならびに 2008 年秋季大会の開催地について審議するとともに，作物学会から提案のあった合同学会開催について意見交換を行った。

研究助成公募の案内

◇ 不二たん白質研究振興財団 平成 20 年度 助成課題募集

「不二たん白質研究振興財団」は，たん白質に関する研究およびこれに関連する研究の奨励，援助を行い，もって学術の発展および国民生活の向上に寄与することを目的とします。一般研究に加え，特定研究の助成を行っております。下記の要項に沿ってご応募下さい。

- I. 研究者の範囲：大学等およびこれに準じる研究機関に所属する研究者とします。
- II. 特定研究（共同研究）：1. 特定研究の奨励分野 21 世紀の高齢社会において，生活習慣に基づく疾病の一次予防の重要性はますます高まっています。人における健康の維持や病気の予防等に期待される大豆たん白質および関連成分の有用性に関する領域の共同研究を対象とします。2. 研究助成額および研究期間：1) 助成額は単年度で 500 万円までを見当とします。ただし最終的には，研究の具体的内容・規模などに応じ決定されます（採択予定件数約 1 件）。2) 研究期間は平成 20 年 4 月より原則として 3 年とします。3) 応募ご希望の方は予め事務局にご連絡下さい。
- III. 一般研究：研究領域と分野 1) 研究領域は大豆たん白質および関連成分に関する研究を対象とします。2) 研究分野はイ. 食品科学・食品工学（遺伝・育種に関する研究，食品の成分・品質に関する基礎研究，食品の加工・利用，非食品工業への利用に関する研究など）ロ. 栄養科学（栄養に関する生化学・生理学など）ハ. 健康・臨床栄養に関する科学（健康の増進，疾病の予

防と治療に関する研究など）3) 萌芽的研究および新進気鋭の研究者（40 歳以下）の研究について，選考の際配慮します。2. 研究助成額および研究期間：1) 助成額は 1 件 100 万円見当を基準とします。ただし最終的には，研究の具体的内容・規模などに応じ決定されます。（採択予定件数約 25 件）2) 研究期間は原則として平成 20 年 4 月より 1 年とします。ただし連続して助成することもあります。

- IV. 応募方法：1. 一般研究課題の申し込みは <http://www.fujioil.co.jp/daizu/> より応募用紙（9 月より掲載）をダウンロードし，要項に沿って必要事項を記入の上，事務局までご送付下さい。2. 特定研究課題の申し込みは，氏名，所属機関名，役職名，機関所在地，〒番号，Tel 番号を明記の上，Fax 又はハガキにて平成 19 年 11 月 16 日までに事務局へご連絡願います。・当財団から，折返し募集要項および応募書類をご送付します。・応募書類に必要な事項をご記入の上，事務局までご提出下さい。3. 提出された応募書類により，学識経験者からなる選考委員会による選考を経て採否を決めます。
- V. 問合せ・申込先：〒 598-8540 大阪府泉佐野市住吉町 1 番地 不二製油（株）内（財）不二たん白質研究振興財団 事務局 上田，福田 Tel: 072-463-1764 Fax: 072-463-1756 e-mail: foundation@fujioil.co.jp

集会の案内

◇ 第 5 回国際イネ機能ゲノミクス国際シンポジウム

イネ研究者が様々な方法論，材料を用いてイネの遺伝子機能を大規模に解明する機能ゲノミクス（functional genomics）が各国で精力的に進められておりますが，これらの研究を世界レベルで統合し，イネ遺伝子機能の全体像を議論する国際組織として，数年前に国際イネ機能ゲノミクスコンソーシアム（IRFGC）が結成されました。同コンソーシアムでは毎年国際シンポジウムを開催し，イネ機能ゲノミクスに関する最新の知見を発表し，リソース，データベース・手法の共有，国際共同研究の進むべき方向性の提示を図って参りましたが，本年度は下記の要領でわが国において開催されることとなりました。日本育種学会は本国際シンポジウムに協賛しております。

1. 日程 2007 年 10 月 15 日～ 17 日
2. 場所 つくば国際会議場エポカル
3. 主催 第 5 回 国際イネ機能ゲノミクス国際シンポジウム事務局
4. 共催 独立行政法人農業生物資源研究所
5. 開催責任者 佐々木卓治 農業生物資源研究所理事

◇ 第3回 国際 O-CHA 学術会議

1. 会議の名称 第3回国際 O-CHA 学術会議 The 3rd International Conference on O-CHA (Tea) Culture and Science
2. 主催 第3回国際 O-CHA 学術会議組織委員会 組織委員長 西垣克
3. 時期 2007年11月2日～4日
4. 場所 静岡県立大学, 静岡県コンベンションアーツセンター「グランシップ」
5. 目的 茶に関わる産業から文化にいたる様々な分野の学術研究者が世界各地から集い, 最新の研究成果を発表する情報交換の場として, 集まった情報を共有, 公開, 活用することにより, 茶の学術研究の振興を図り, 茶の消費拡大, 茶産業の発展に資することを目的とするものです。なお, 日本育種学会はこの会議を後援しています。

男女共同参画学協会連絡会からのお知らせ

本会では2003年に「21世紀の多様化する科学技術研究者の理想像—男女共同参画推進のために—」と題し, 理工系の39学協会を対象にして約2万人の大規模アンケート調査を行いました。その詳細な分析結果を報告書にまとめ, それらのデータに基づいた提言・要望を関係省庁に提出したことは, 女性研究者支援の施策を動かす大きな原動力となりました。それから4年を経て, 今回調査の規模をさらに拡大して第2回アンケート調査を下記の要領で行うことになりました。

「科学技術系専門職の男女共同参画実態調査」

期間: 8月20日～10月末日

方法: 下記の URL へアクセスし, WEB 上での回答となります。

<https://secure.lab-accel.jp/danjo/enquete.html>

(注: http ではなく, https となりますのでご注意ください。)

次世代の科学技術研究者の研究環境整備のため, 男女問わず, アンケート調査に是非ご協力くださいますようお願い申し上げます。(文責: 吉田薫)

談話会だより

◇ 近畿地域談話会

2007年7月14日に近畿作物・育種研究会第163回例会および総会を大阪府立大学で開催した。総会では平成19年度の運営方針を決定した。例会では11題の一般講演と1題の特別講演が行われた。例会のプログラムは以下の通りである。

一般演題

- 1) シイタケ *Lentinula edodes* における子実体形成に関与する遺伝子群の構造・機能解析: 濱田聡○・種坂英次・吉田元信 (近畿大農) / 2) イネ組換え型自殖系統における登熟程度と穂型関連形質間の経路分析: 加藤恒雄 (近

畿大生物理工) / 3) 水稲「滋賀糯68号」の育成について: 吉田貴宏○¹・中川淳也¹・森真理²・宮村弘明³・寺本薫²・吉澤清⁴ (1. 滋賀県農技振セ, 2. 現滋賀県農政水産部, 3. 現滋賀県湖北地域振興局, 4. 元滋賀県農技振セ) / 4) 飼料イネ「兵庫牛若丸」の育成と他の飼料イネ系統との比較: 松本純一○・田中萬紀穂・澤田富雄 (兵庫県立農水技総セ) / 5) イネにおけるいもち病感染特異的 PR-3 キチナーゼ遺伝子の発現およびそのシグナル伝達機構の解析: 築山拓司○・K. Xayphakatsa・奥本裕・影山大輔・中崎鉄也・田中千尋・谷坂隆俊 (京都大院農) / 6) 黄ダイズ品種エンレイの冠水抵抗性遺伝子: 広田直子○・吉川貴徳・中崎鉄也・佐山貴司・奥本裕・築山拓司・谷坂隆俊 (京都大院農) / 7) 「丹波黒」の生産変動要因に関する研究—夜久野町大油子集落における実態調査(速報)—: 本間香貴○¹・御子柴北斗¹・森壽²・岡井仁志³・白岩立彦¹・須藤健一⁴・稲村達也¹ (1. 京都大院農, 2. 京都府中丹西農改善セ, 3. 京都府農総研, 4. 兵庫県農技セ) / 8) 水稲品種「レーク65」の食味特性について: 中川淳也○・吉田貴宏 (滋賀県農技振セ) / 9) 前作の違いが飼料イネの収量に及ぼす影響: 岩井正志○・福島護之・小河拓也・澤田富雄・松本純一 (兵庫県農水技総セ) / 10) 丹後地域の未利用資源(有機物)を活用した「コシヒカリ」栽培技術: 大橋善之○・大嶋優・吉岡善晴 (京都府丹後農研) / 11) コーヒー (*Coffea arabica* L.) 培養細胞における体細胞胚形成に及ぼす糖の影響: 川本智○・東哲司・南森隆司・安田武司 (神戸大院農)

特別講演

遺伝子組換え作物に関する最近の動向: 小泉望 (大阪府立大院生命環境)

また, 機関誌「近畿作物育種研究」第53号が発行された。本号では総説2編, 論文12編, 短報2編および資料1編が掲載されている。

日本育種学会会員異動(2007.4.21～2007.7.20)

◇ 普通会員入会: 鴻坂扶美子 (北海道), 小仁所邦彦, 杉本和彦, 土生芳樹 (茨城), 塩野克宏 (東京), 井野洋子, 杉山正夫 (神奈川), 木水真由美 (新潟), 馬場富二夫, 藤井浩 (静岡), 野添幹雄 (京都), 三好大介 (愛媛), 江口研太郎 (熊本)

◇ 学生会員入会: 石田浩規, 柴田雅之, 矢村悠花 (北海道), 荒谷陽介 (青森), 植村亜衣子 (岩手), 潘衛鋒, 吉田康子 (茨城), 菊地豊和 (栃木), 榎本裕介, 大嶋雅夫 (埼玉), 江澤祥太, 大根田真子, 小島拓磨, 諸泉晶 (東京), 高久真実 (神奈川), 北村里美 (新潟), 津田勝利 (静岡), 玉井紀子 (滋賀), 伊吹隆, 重野麻子, 中西健太, 門田有希, 八木映樹 (京都), 井上尚樹, 小林優佳 (大阪), 奥野悠, 本田良太 (奈良), 上田登史恵, ELAMEIN HALA MOHAMED MUSTAFA (鳥取), 秀島瑠満子 (佐賀), 松尾勇一朗 (宮崎)

◇ 外国会員入会：黄泰雲（大韓民国）

住所変更等

◇ 普通会员：玉掛秀人，八戸三千男，平野智也，吉川亮，吉田智美，渡辺啓史（北海道），佐藤耕，庭田英子（青森），高橋大輔（岩手），伊藤幸博（宮城），滝田正（秋田），荒木均，入来規雄，岡本正弘，川口健太郎，小西左江子，小林史典，小林仁，佐治章子，柴智徳，夏正俊，白澤健太，田畑美奈子，中島皐介，長峰司，中村洋，原田久也，山川理，吉田久，若佐雄也（茨城），佐藤尚，藤重宣昭（栃木），成塚彰久（群馬），竹久妃奈子（埼玉），鈴木茂，室田有里（千葉），門脇光一，小鞠敏彦，野見山誉，門馬信二，山崎宗郎（東京），今井雄大，北浦健生，新田直人，坂智広（神奈川），浦嶋修，山本将之（富山），堀内久満，見延敏幸（福井），斎藤稔，手塚光明（長野），稲葉善太郎，加々美裕（静岡），杉浦直樹，吉田建実（愛知），井上雅好，森真理（京都），岩井正志，上島脩志，鄭澤宇（兵庫），金子和彦（山口），多田伸司（香川），緒

方大輔，尾形武文，坂井真，田谷省三（福岡），山口栄二（熊本），陳蘭莊，橋口正嗣（宮崎），根角厚司（鹿児島），井辺時雄，川上光男（沖縄）

◇ 学生会員：風間智彦（宮城），齋藤久美（山形），川崎頭子，遠山宏和（茨城）

◇ 外国会員：西南大学図書館（一館），湖南農業大学図書館，寶全文（中華人民共和国），行政院農委会花蓮区農業改良場図書館，行政院農業委员会高雄区農業改良場図書館，桃園区農業改良場（中華民国）

◇ 賛助会員：（株）サカタのタネ研究本部（神奈川）

◇ 団体会員：創価大学中央図書館（東京），愛知県農業総合試験場山間農業研究所稲作グループ，名古屋大学大学院生命農学研究科図書館（愛知），滋賀県立大学図書館情報センター（滋賀），神戸大学自然科学系図書館（兵庫）

逝去

神尾正義（茨城，普通会员）

慎んでご冥福をお祈りいたします。